

## 京都議定書報告のために調査・開発を行った事項

○以上のように、京都議定書報告のために必要な情報を得るために、下記の項目について調査・開発、検証を行いました。

- ①新たに森林になった場所、開発等により森林でなくなった場所の抽出・特定方法の開発
- ②「森林経営」が行われている森林の抽出・特定方法の開発
- ③枯死木・リター・土壌中の炭素量の算定方法の開発
- ④森林簿など行政情報の検証及び品質の向上取組み